

庁舎のあり方「3案」の比較

	WTC移転(案)		耐震補強(案)		建替え(案)	
スケジュール	H23 : WTC 改修工事完了		H24 : 本館耐震工事完了		H27 : 新庁舎完成	
執務室等面積	59,800 m <sup>2</sup>	延床面積 149,300 m <sup>2</sup>	60,200 m <sup>2</sup>	延床面積 98,240 m <sup>2</sup>	74,800 m <sup>2</sup>	延床面積 127,000 m <sup>2</sup>
行政機能	47,650 m <sup>2</sup>	一人当たりの執務室面積 6.4m <sup>2</sup>	47,100 m <sup>2</sup>	一人当たりの執務室面積 6.4m <sup>2</sup>	58,000 m <sup>2</sup>	一人当たりの執務室面積 7.5m <sup>2</sup>
議会機能	4,750 m <sup>2</sup>	本会議場 約500m <sup>2</sup> 傍聴席 約100m <sup>2</sup>	4,900 m <sup>2</sup>	本会議場 約500m <sup>2</sup> 傍聴席 約250m <sup>2</sup>	7,700 m <sup>2</sup>	本会議場 約750m <sup>2</sup> 傍聴席 約450m <sup>2</sup>
その他	7,400 m <sup>2</sup>	食堂・更衣室・迎賓機能・診療所・ 研修所・互助会・市町村会等	8,200 m <sup>2</sup>	食堂・更衣室・迎賓機能・診療所・ 研修所・互助会・市町村会等	9,100 m <sup>2</sup>	食堂・更衣室・迎賓機能・診療所・ 研修所・互助会・市町村会等
本館	・上町筋側中央部のみを補強し、ギャラリーなど府民が 利用する施設として活用		・本館全体を補強し、庁舎使用を継続		・上町筋側中央部のみを補強し、ギャラリーなど府民が 利用する施設として活用	
防災情報センター	WTCに整備		新別館に整備		新庁舎に整備	

財政シミュレーション(H20年～53年)	整備費等支出 (a)	214 億円	土地建物購入費等: 103 WTC改修: 61 起債利息等: 9 移転等: 10 現庁舎エリア外構等: 5 本館保存改修等: 26	141 億円	本館耐震補強費: 80 起債利息: 8 本館執務環境改善: 20 新別館改修費: 20 外構等: 10 移転等: 3	779 億円	新庁舎建設事業費: 720 外構等: 20 文化財調査: 5 移転等: 8 本館保存改修等: 26
	管理的経費 (b) (H20～53)	428 億円	維持管理費: 402 民間ビル賃借料(4年間): 26	578 億円	維持管理費: 360 民間ビル賃借料(34年間): 218	433 億円	維持管理費: 382 民間ビル賃借料(8年間): 51
	大規模修繕費 (c)	220 億円		104 億円	本館・別館	170 億円	
	総支出 (d)=(a)+(b)+(c)	862 億円		823 億円		1,382 億円	
	土地活用収入 (e)・南地区東側を除く	447 億円	4.3 ha	203 億円	1.9 ha	339 億円	3.3 ha
	(f)=(e)-(d) ※	▲415億円		▲620 億円		▲1,043 億円	

※ 「今後の財政収支の見通し[粗い試算改訂版](平成20年7月試算)」ベースでの耐震補強(案)の維持管理費等の見込み 693億円(H20～H53)

H20年9月公表(素案)との相違点	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの執務室面積を、7.1m<sup>2</sup>から6.4m<sup>2</sup>に見直し。</li> <li>維持管理費は、民間テナントの賃借料相当額を減額。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集約庁舎を整備せず、民間ビル賃借を継続。</li> <li>耐震撤去移転先を新別館の改修により確保。</li> <li>起債の償還期間を30年から5年に短縮。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地活用収入の減少(面積・単価の見直し)に伴い建設事業費への充当額が減少し、新庁舎建設事業費が増加。</li> </ul>
-------------------	--	---	--